

6-10

心に寄り添う精神的な援助を目指して

養護老人ホーム 高砂園

発表者：支援員 浅野 千鶴	共同研究者：沼倉 結実、中荻 節子
所在地：東京都葛飾区西水元 4-5-1	共同研究者：小西 恵子、若林 チイ子
TEL：03-3607-4060	E-mail：info@jinseisha.jp
FAX：03-3607-4654	URL：http://www.jinseisha.jp

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	高砂園は水と緑に囲まれた閑静な環境にあります。 入園者の交流を深め、生活の「自立への援助」に努めています。
----------------------------	--

〈はじめに〉

高砂園入園者 140 人のうち、精神疾患や情緒不安を抱え精神科に通院をしている方、園内指定医のカウンセリングを受けている方は、32 人いる。その中で、より豊かな生活を送れる様、心に寄り添う精神的な援助を目指して考察した。

〈経 過〉

① 精神科医の配置

- ・平成 19 年に「精神科医」を配置
- ・毎週金曜日一日体制・入園者、特に睡眠薬の服用者に対するカウンセリングを行う・2 年目以降は、新規入園者及び随時に悩みや不安を抱えている方のカウンセリングを行う

〈課 題〉

① 職員としての援助課題

- ・日常生活における精神的な不安定な症状の気づきをどう高めるか
- ・症状やその要因に対する職員の対応や援助方法のありかた

〈取り組み〉

① 職員のスキルアップ

- ・園内研修 ・「愛のノート」作成
- ② 健康保持と生きがいのために
- ・クラブ活動への参加促進

〈まとめ〉

- ① 精神科医の存在は園内でその人にあった有意義なカウンセリングを受ける機会になり安心して落ち着いた生活を送ることが出来るようになった
- ② 症状の安定している人は園内で対応してもらえることにより通院時間の短縮があらたな時間を作ることも出来た
- ③ 入園者の不安定をすぐに把握でき、カウンセリングを受け助言をもらえることで援助方法の周知、統一が出来た。

〈反省・今後の課題〉

今 現在、取り組みとして“愛のノート”の活用をしているが、それだけでは、対応策として十分とはいえない。今後、職員間での話し合いの場も今以上、持つ必要があると共に、楽しく安定した生活の向上にむけ取り組んでいきたい。

【メモ欄】